

純プラチナ彩・セラミックの宝石

# 山本一洋の世界展

会期：2024年9月18日(水)～23日(月・振)

会場：松菱 6階催事場

※最終日は午後5時閉場

9月21日(土)・22日(日)

山本洋大先生来場

(山本一洋先生のご長男)

※都合により変更になる場合がございます。



三多文 飾壺 約径22.0・高さ36.0cm



松菱

T.514-8580 津市東丸之内4-10 TEL.099-228-1311

このたび、松菱では「純プラチナ彩・セラミックの宝石 山本一洋の世界展」を開催する運びとなりました。

山本一洋先生は、15歳の時に出会った古伊万里の美しさに心を奪われ、自分もいつかは誰にも真似できない作品を創り上げたいという想いを胸に長年にわたり試行錯誤を繰り返し、「純プラチナ彩」という独自の技法を開発されました。

幾重にも塗り重ねられ盛り上げられたプラチナの幾何学模様が、緻密に描かれ、陶器とは思えないその美しさは「セラミックの宝石」と称賛され、国内外で高い評価を受けています。

本展では飾壺、陶管、香炉、香合などの新作約60点を一堂に展観いたします。

ぜひ、この機会に美しく煌めく山本一洋先生のプラチナ彩の世界をご高覧賜りますよう、お願い申し上げます。



登龍門 陶管 約径33.0×高さ12.0cm



孔雀紋様 飾壺 約径22.0×高さ20.5cm



風の舞 陶管 約縦14.5×横14.5×高さ15.0cm



豊穰 飾壺 約縦16.5×横21.0×高さ26.0cm



波香 茶人 約径7.5×高さ8.5cm



矢草草 香炉 約縦10.0×横10.0×高さ11.0cm

出品内容は変更になる場合がございます。商品のお渡しまでにお時間を頂戴する場合がございます。

## 山本一洋 略歴

1944年 長崎県に生まれる  
 1985年 純プラチナ彩の研究に入る  
 1986年 『サロン・ド・パリ 日本の美術展』(パリ開催)3年連続入賞  
 (1986年～1988年)  
 1995年 高知西武にて個展(NHK放映)  
 1997年 飛田高山 茶の湯美術館所蔵作品を1年間制作  
 2000年 榎原神宮 宝物館に尚蔵  
 2006年 アメリカニューヨーク 日本クラブにて個展  
 2010年 スペイン バレンシア国立陶器博物館にて『山本一洋 特別招待展』  
 開催、同館始まって以来の入館者を達成  
 スペイン バレンシア国立陶器博物館所蔵  
 ACC(スペイン カタルニャ陶芸家協会)名誉会員に選任される  
 2011年 佐賀県にて『山本一洋 スペイン凱旋帰国展』開催  
 2013年 平凡社創業100周年記念出版「WAZAが創る」  
 著者 三田村有純(東京藝術大学美術学部教授 学長特命国際交流  
 部長)に精緻な美の世界を確立した5人の芸術家・陶芸部門で出版

2015年 平凡社より「プラチナ彩 至高の輝き 山本一洋の世界」出版  
 著者 井谷善恵(東京藝術大学グローバルサポートセンター特任教授)  
 パナマ・カリフォルニア博覧会100周年・稲盛パビリオン落成記念  
 山本一洋展(2015年4月～7月)開催される  
 日本橋高島屋6階美術画廊にて個展  
 2018年 独立行政法人 国際交流基金主催「超絶技巧の日本」展に選定され  
 出品、約10年間にわたって世界巡回展となる ドイツ・スペイン巡回  
 2019年 ロシア・ルーマニア巡回  
 2020年 イギリス・スロベニア巡回  
 2021年 リトアニア巡回  
 2022年 モルドバ巡回  
 2023年 エルサルバドル  
 米国(ワシントンD. C.)  
 カナダ  
 米国(ナッシュビル)  
 2024年 ドミニカ共和国  
 (予定)コロンビア・エクアドル  
 ベルギー・パナマ  
 2025年 (予定)アルゼンチン

